

令和元年度 学校通信
9月号
8月26日発行

成文

尼崎市立成文小学校
校長 木戸 恒徳
TEL 06-6418-2361

ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E17/index.html>



「父は、懸命に生きようとした…」

校長 木戸 恒徳

自分の身に起こった、体験した『戦争の悲惨さや理不尽さ』を私たちに語り継いでくださっている『語り部』さんという人たちがおられます。『広島』にも、『長崎』にも、『沖縄』にも、私たちの住む『尼崎』にも。『語り部』さんたちは、私たちの国が、再び、戦争へと歩み始めないことを願いながら…、自らの『思い出』を語ってくださっています。

「父は、懸命に生きようとした…」。NHKが、8月10日（土）、『お父さんと私の“シベリア抑留”～「凍りの掌」が描く戦争～』というドラマを放映しました。この言葉は、主人公の漫画作家の女性が語った言葉です。

漫画作家の女性は、人の人生を描くことを自らが漫画を描く意義とも捉えながら、太平洋戦争が終わり、4年間、“シベリアに抑留されていた父”の身に起こったことを、体験したことを漫画で描きます。父の“シベリア抑留”を描く『凍りの掌（て）』は、最初、まったく反響がありませんでした。でも…、漫画作家の女性は、『凍りの掌』で新人賞を獲得します。受賞スピーチで、**「父は、[漫画で描いたように壮絶で過酷な“シベリア抑留”の中で] 懸命に生きようとした。私が、[生まれて、生きて、そして] ここに居るのは、そんな父が居たからです」**と語ります。昭和20年8月15日、戦争は終わった（終戦した）はずなのに、それから後も『捕虜』として極寒のシベリアに抑留され、たくさんの人々が亡くなる苛烈な労働を強要された父が、**「懸命に生きようとした」**から今の私は在る。逆に言うなら…、悲惨で理不尽な戦争が、父の生命を奪っていたら、私は、今、こうしてここには居ない。“シベリア抑留”を生き抜いた、生き抜いてくれた父を讃える、娘からの最大限の感謝の言葉です。



漫画作家の女性は、父に取材し始めた頃の『思い出』として、「[“シベリア抑留”されていた頃を] 覚えていない…って言うんです。でも、それは、覚えていないんじゃないくて、思い出したくないということだったんだろうと思います」と語っています。『語り部』さんたちが語る『思い出』もまた、本当は、思い出したくない、思い出せば胸が張り裂けんばかりの苦しみや悲しみにさいなまれる…そんな『思い出』なのかもしれません。それでも、その『思い出』を自ら語ることで、一人でも、『戦争の悲惨さや理不尽さ』に思いを馳せ、『途切れることなく、今の自分へとつながれた“生命のバトン”に感謝し、懸命に生きよう』としてくれる人がいるなら…という『想い』と『願い』をもって『語り部』さんたちは、その苦しさ、つらさ、悲しさに耐えながら語っておられるのかもしれません。

成文小学校で学んだ、今、学んでいる、そして、これから学ぶことになる“成文っ子”たちみんなが、思い出したくないようなつらく悲しい『体験』ではなく、思い出すたびに幸せな気持ちに包まれ、笑顔になれる『体験』をいっぱい手に入れ、心豊かに生きていてほしいと心から願わずにはいられません。2学期も、どうぞよろしくお願いいたします。



今月の予定

日	曜日	主な行事
26	月	始業式・清掃 12:00下校
27	火	
28	水	
29	木	水泳記録会5・6年 12:00下校
30	金	水泳記録会(予備) 12:00下校
31	土	
1	日	
2	月	給食開始 夏休み作品展 身体測定(さくら)
3	火	夏休み作品展 身体測定(6年)
4	水	委員会活動 身体測定(5年)
5	木	代表委員会 身体測定(4年) チャレンジタイム 諸費引落
6	金	身体測定(3年) 5年清掃後下校
7	土	
8	日	
9	月	自然学校(5年) 身体測定(2年)
10	火	身体測定(1年)
11	水	
12	木	チャレンジタイム

日	曜日	主な行事
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	《敬老の日》
17	火	5年清掃後下校 諸費引落
18	水	クラブ活動
19	木	チャレンジタイム
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	《秋分の日》
24	火	朝会 環境体験学習(3年)
25	水	6年清掃後下校
26	木	修学旅行(6年) チャレンジタイム
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	6年清掃後下校

【夏休み作品展】

9月2日(月)～3日(火)

9:30～12:00

15:00～16:00

*1～3年：ランチルーム（南校舎1F）

*4～6年：理科室（南校舎1F）

子どもたちが作品づくりで工夫し努力しているところや作品に込めた思いを、ぜひ見て感じていただきたく思います。ご来校をお待ちしています。

*上ばき、下靴入れ、名札をご用意ください

【10月の主な行事】

2日(水) 委員会

3日(木) 代表委員会

7日(月) 児童集会

8日(火) 成文まつり

9日(水) クラブ活動

16日(水) 6年連合体育大会

21日(月) 読書週間(～25日)

29日(火) 連合体育大会予備日

30日(水) 就学時健診



10月1日から『門扉の施錠』を始めます【予告】

現在、ご承知のように、3人の安全管理員が、交代で『朝から夕方まで』正門付近に待機しています。安全管理員は、『遅れて登校した児童』、『学校に荷物を搬入する業者』、『学校に用事がある来校された来客者〔保護者〕』等を確認し、『北門』や『正門の通用門』を開けています。

ですが、10月1日からは、安全管理員の学校配置が、『14：30から16：30まで』の2時間となります。この状況を踏まえ、学校としては、安全管理の維持の観点から、朝、正門を閉じる『8：15』から、安全管理員が配置される『14：30』までの時間、『電子ロック』を作動させ、勝手に門扉を開けることも、勝手に学校に入ることもできないように『門扉の施錠』を始めていきます。

10月1日から、『8：15から14：30まで』の時間、『電子ロック』が作動しているため、『通用門』を含め、門扉は押しても引いても勝手には開きません。学校に用件等があるときは必ず、門扉横の『インターホン』を押して、学校内の教職員と連絡を取ってください。『インターホン』を通して用件等を確認しましたら、学校内での操作によって『電子ロック』を解除します。

マンションには、マンション内の安全管理を高めるために、『オートロック』を採用し、来訪者を確認した後に入り口を開放するシステムが導入されているところもあるようです。成文小学校においても、10月1日からは、『8：15から14：30まで』の時間、『電子ロック』による『門扉の施錠』を始め、学校の安全確保を徹底していきたいと思えます。

安全管理員が正門付近で待機している時間の変化に伴い、多少のご不便さや煩わし感が生じるかもしれません。しかし、『不審者』と呼ばれるような望まない人の侵入をできるだけ防ぎ、子どもたちに学校内で安全安心に過ごしてもらうための処置・対応としてご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

『電子ロック』を作動させた『門扉の施錠』は、10月1日から実施します。しかし、突然の連絡・実施では、戸惑われることも起こり得ると思い、【予告】として少し早いタイミングですが、情報を提供させていただきました。『遅れて登校した児童』等を含め、子どもたちが、『電子ロック』を作動させた『門扉の施錠』に戸惑い、門扉の前で困って立ち往生してしまうことがないように、校内での情報発信にも努めてまいります。併せて、各ご家庭におかれましても、保護者様から、『電子ロック』を作動させた『門扉の施錠』が10月1日から始まる旨をお子様に連絡していただければ有り難く思います。

「10月1日から門扉が開かないときは『インターホン』を押して先生を呼び出せば大丈夫だからね」とお伝えいただき、お子様に安心を与えてもらうことにご協力を賜れたらうれしく思います。

今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【夏休みもがんばりました】

・7月22日（月）から26日（金）まで、『サマースクール』が行われました。1年生から6年生まで、毎日143名の参加がありました。理科室やランチルームという普段の教室とはまた違った環境の中で、夏休みの宿題等、それぞれに思い思いの課題に熱心に取り組みました。

・夏休みも終わりに近づいた8月19日（月）から23日（金）までの4日間〔（水）を除く〕には、『レイトサマースクール』が実施されました。4年生から6年生までの毎日26名が参加しました。子どもたちは、読書感想文など、残りの宿題に取り組みました。宿題の終わった子どもたちは、漢字練習等、復習に取り組みました。その他にも、楽しく頭を働かせるクイズのような学習プリントにも挑戦しました。計算科室で、1時間以上集中して学習し、2学期に向けてしっかりとウォーミングアップをしました。



【ユニセフ募金】



1学期のことになりますが、『ユニセフ募金』へのご協力ありがとうございました。みなさまからの募金1,901円は、ユニセフ本部に送られ、世界150以上の国と地域でさまざまな活動に役立てられるとのことです。成文小学校の子どもたちが世界の子どもの現状にも目を向けられるよい機会となることを願っています。

【『大島南歩道橋』補修工事のお知らせ～9月30日までの予定～】

兵庫県西宮土木事務所から、大島南歩道橋の補修工事を行う旨の連絡がありました。工事期間は、8月19日（月）から9月30日（月）の予定です。歩道橋の補修工事に伴い歩道橋が通行止めの時は、横断歩道を渡っての登下校になります。学校においても、大島南歩道橋を利用して登下校している子どもたちに注意を喚起いたします。ご家庭においてもお子様へのご指導をよろしくお願いいたします。

